青森県立大間高等学校
生徒指導部通信
2025 vol.17

2026年（令和８年）
３月４日（水）
文責：田中大基

▼Contents

１　服装・容儀について①

１　服装・容儀について①

新年度用の証明写真撮影に伴い、**服装・容儀指導**を実施します。多様性が求められる社会ですが、服装・容儀に関する**統一的な指導には明確な理由**があります。学習、身分、健康、社会様々な理由があります。一つ一つ見ていきましょう。

（１）制服は、貧富の差がなく、学べることの象徴[1]

制服は元来、貧富の差がなく、同じ場所で同じものを多くの人が学んでいることを象徴する服装でした。

どのような人でも、**貧富や身分の差などに関係なく、統一された身なりで学ぶことができる。**学校という空間での一体感や愛校心などを醸成する役割を果たしたのが制服でした。

一方で**制服は、式服（礼服）**としての意味も持ち合わせています。**冠婚葬祭、どの場面でも制服は対応**でき、服装にかかる費用を最小限にとどめることができます。

きちんとした場所にふさわしい服装なのです。だからこそ、普段から**制服を着崩してしまうのはNG**。

礼服を着ているという意識を持って、正しい服装をしていかなければなりません。

（２）学生身分を証明してくれる

制服を着た人を見れば、ドライバーには「生徒だ。ここは通学路だから安全運転を心がけなければ」と啓発ができます。

事故に遭ったとき「〇〇高校の制服を着た生徒が倒れている！」と連絡してくれるかもしれません。

街中で「道に迷った」「怖い人に連れ去られる」と困った状態に陥っても、制服を着ていれば地域住民や警察が救いの手を差し伸べてくれるでしょう。

[1] ただ学校で着るだけじゃない？制服のもつ役割について、株式会社チクマさんに教えてもらってきました。 | MOTTAINAI もったいない モッタイナイ

（3）服育（服装に関する教育）[2]

子ども達にとって初めての社会である**学校**という場は、**服育を学ぶ上で重要な場**です。

その日の授業内容や気候・気温に相応しい服装について考えたり、その服装について友人とディスカッションする等々、仲間と共に過ごす学校という場だからこそ深める事のできる服育があります。

特に、皆で同じ服装を着用する制服のある場合は、普段のカジュアル服とは違うフォーマルスタイルの服装の役割や相応しい着こなしについて学ぶこともできます。

- **カビが生えないよう風通しや湿度を調整する**
- **シワができないよう脱いだらすぐにハンガーに掛け手入れする。**

（4）服を着こなす「服装術」の育成　『外見は能力である』[3]

服装は、人間同士の**コミュニケーション**を**インターフェイス（仲立ち）**しているのです。

服装は第一印象の決定因子として、非常に大きな要素を占めています。その後の人間関係のベースであり、後から取り消すことのできない第一印象は「良くて当たり前」です。

服装術とオシャレは同一ではありません。服装を趣味や自己完結で着るのではなく、コミュニケーションツールとして積極的に活用することが服装術なのです。

どちらの印象が良いか？

「人を外見で判断してはいけない」と言いますが、**これはすなわち「人は外見で判断されてしまう」ことを裏付け**ているのではないでしょうか。

服装や持ち物で相手の人となりを決めつけてしまったり、あるいはその反対に相手から決めつけられてしまったりという経験は誰しもあるはずです。

仕事がデキれば服装がどうでもよいと誤解したままでいると、**仕事なら誰にも負けない自信**をもっていたとしても、それを**相手にわかってもらうことすらできず、チャンスを逸してしまうかもしれない**のです。これではそもそも仕事そのものが始まりません。つまり、闘わずして負け、です。「たかが服装」とあなどれない理由がおわかりいただけるでしょうか。**服装はコミュニケーションツール**であり、**服装術は立派な能力**なのです。

---

[2] 服育とは ｜ こころを育む衣服 服育（fukuiku.net）
[3] 服装の機能と役割を考える～服は人なり～ ｜ こころを育む衣服 服育（fukuiku.net）